

表4-1

学部、学科の開設授業科目における専兼比率

学部・学科			必修科目	全開設授業科目	
総合経営学部	学部共通	教養教育	専任担当科目数(a)	14.34	68.34
			兼任担当科目数(b)	7.66	91.66
			専兼比率 (a/(a+b)*100)	65.18	42.71
	総合経営学科	専門教育	専任担当科目数(a)	12.00	79.00
			兼任担当科目数(b)	1.00	13.00
			専兼比率 (a/(a+b)*100)	92.31	85.87
	観光ホスピタリティ 学科	専門教育	専任担当科目数(a)	12.50	84.50
			兼任担当科目数(b)	1.50	37.50
			専兼比率 (a/(a+b)*100)	89.29	69.26
人間健康学部	学部共通	教養教育	専任担当科目数(a)	9.00	82.00
			兼任担当科目数(b)	13.00	101.00
			専兼比率 (a/(a+b)*100)	40.91	44.81
	健康栄養学科	専門教育	専任担当科目数(a)	38.86	79.86
			兼任担当科目数(b)	8.14	25.14
			専兼比率 (a/(a+b)*100)	82.68	76.06
	スポーツ健康学科	専門教育	専任担当科目数(a)	17.00	95.6
			兼任担当科目数(b)	1.00	15.4
			専兼比率 (a/(a+b)*100)	94.44	86.13
教育学部	学校教育学科	教養教育	専任担当科目数(a)	3.50	36.50
			兼任担当科目数(b)	7.50	58.50
			専兼比率 (a/(a+b)*100)	31.82	38.42
		専門教育	専任担当科目数(a)	13.67	92.17
			兼任担当科目数(b)	1.33	22.83
			専兼比率 (a/(a+b)*100)	91.13	80.15
全学共通	資格科目	専任担当科目数(a)	62.01	307.61	
		兼任担当科目数(b)	23.99	114.39	
		専兼比率	72.10	72.89	
		(a/(a+b)*100)			

- ① 学部のみを記載すること。
- ② 実働している科目数のみを記載すること。卒業要件の可否は問わない。募集停止している学部、学科も、学生が在籍している場合は記載すること。
- ③ 「専任担当科目数」欄は、他学部・大学院研究科・研究所等の専任教員による兼任科目も含めること。
- ④ 「専門教育」欄及び「教養教育」欄は、大学の設定する区分に応じて名称を記載すること。
- ⑤ セメスター制などを採用しており、各学期ごとの状況に差がある場合は、学期ごとに作表すること。
- ⑥ 複数の学部、学科等にまたがる場合は、共通の欄を新たに設けて記載すること。
- ⑦ 同一科目を週複数回実施している場合、同一教員による実施で専任教員が担当する場合は、専任担当科目数が1、兼任教員が担当する場合は、兼任担当科目数が1となる。  
複数教員による実施で専任教員が担当する場合は、専任担当科目数が1、専任教員と兼任教員がそれぞれ担当する場合は、専任担当科目数が0.5、兼任担当科目数が0.5となる。（例：一科目で4クラスに分かれ、兼任が2クラス、専任が2クラス担当する場合、専任0.5、兼任0.5）
- ⑧ 実験、実習等一つの科目を兼任教員を含む複数の教員が担当する場合は、人数比による数値を記載すること。（例：専任4人、兼任1人で担当の場合、専任0.8、兼任0.2）
- ⑨ 小数点以下の端数について、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで記載すること。
- ⑩ 大学院大学の場合は、学部を研究科、学科を専攻に読替え、実情に応じて記載すること。